

新卒者看護過程研修

～個別性のある看護を実践しよう～

7月20日(木)・21日(金)に、新卒者75名を対象に「看護過程研修」を実施しました。講義では、患者さんを全人的に捉える視点や看護過程の一連の流れ、看護診断について理解を深めました。午後からは、事例を用いてグループワークを行い、講義で学んだ内容を基に、看護過程を展開しました。グループワークでは、時間を忘れるほど集中し、活発な意見交換がとても印象的でした。この学びを、部署での看護実践に活かして欲しいと思います。

講義で学んだ、「看護独自の視点」についてレベル交流をしました。

話しやすい雰囲気・質問の仕方を意識しながら、お互いにインタビューを体験しました。

患者役・看護師役を体験し、インタビューの難しさを感じていました。

事例を用いて、グループで患者さんのニーズに沿った看護過程を展開していました。

患者さんの看護計画を熱心に考えていました。

新卒者同士で意見や考えを伝えあい、患者さんにとってより良い看護は何かを検討していました。

患者さんの困りごと、気がかり、強みに着目して、看護過程を考えることができていました。

8月から「看護過程サポート」を開始します。実際のインタビュー場面やアセスメント、看護計画立案までの過程をサポートします。

新人教育に関して、何かご意見やご要望などありましたらお気軽にご連絡ください。

看護職キャリア支援 教育担当